

2026年3月期 決算説明資料

杉本商事株式会社

9932

2026年4月27日

目次

- 2026年3月期決算概要
- 2027年3月期業績予想

2026年3月期決算概要

- 売上増減要因 : AI・半導体関連は堅調も、他分野で投資が慎重化し売上はやや下回る水準
- 利益増減要因 : 新事業の開発、社内DX化に伴う費用、採用関連、人件費の高騰により利益は減少
- BS変動要因 : 売上債権の減少と新システム関連を含む経費支払いへの対応として、短期借入金の増加
- 配当方針 : 2026年3月期は中間27円・期末27円、年間54円（いずれも当初予定通り）

売上高

48,611百万円

（前年同期比 1.7%減）

営業利益

2,047百万円

（前年同期比 14.5%減）

主な指標

1株当たり配当金
中間27円／期末27円
（年間54円）

EPS : 117.29円

2026年 3 月期決算概要

SUGIMOTO

- 生成AI、半導体関連分野は好調に推移するも、他分野における設備投資の先送りにより売上はやや下回る水準
- 新事業の開発、社内DX化に伴う費用、採用関連、人件費の高騰により営業利益は減少

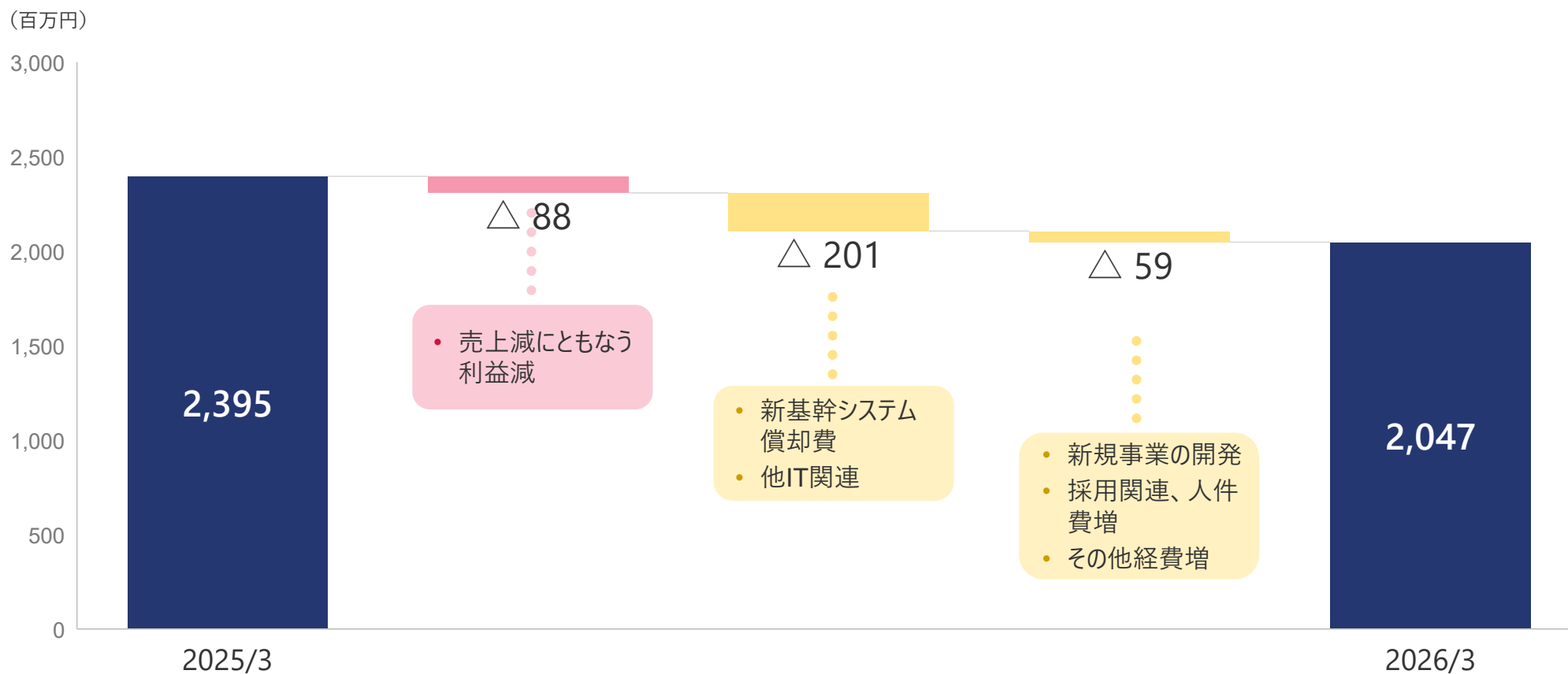
(百万円)

	2025/3	2026/3	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	49,465	48,611	△853	△1.7%
営業利益	2,395	2,047	△347	△14.5%
経常利益	2,906	2,550	△355	△12.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,917	2,112	+ 195	+ 10.2%
ROE (%)	5.4	6.1	+ 0.7	+ 13.0%
EPS (円)	98.18※	117.29	+ 19.11	+ 19.5%

2026年 3 月期営業利益増減分析

SUGIMOTO

- 【減少要因】 売上減に伴う利益減のほか、新規事業の開発、採用関連、人件費等の経費が増加

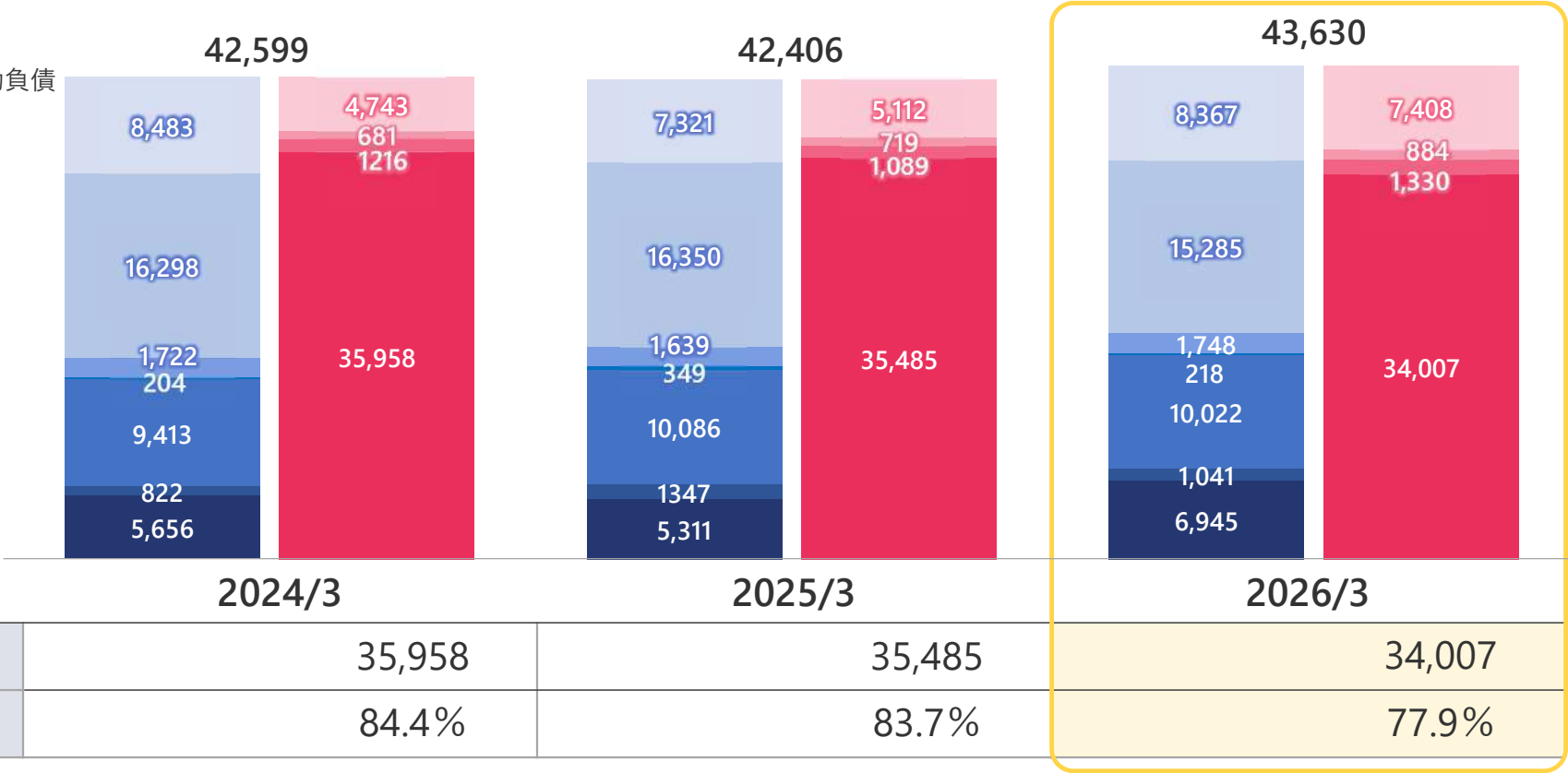


■ 最適資本構成を意識し、積極的な自社株買いの実施などにより自己資本比率をコントロール

連結貸借対照表

(百万円)

- 現金・預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- 其他流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産
- 買入債務
- 其他流動負債
- 固定負債
- 純資産



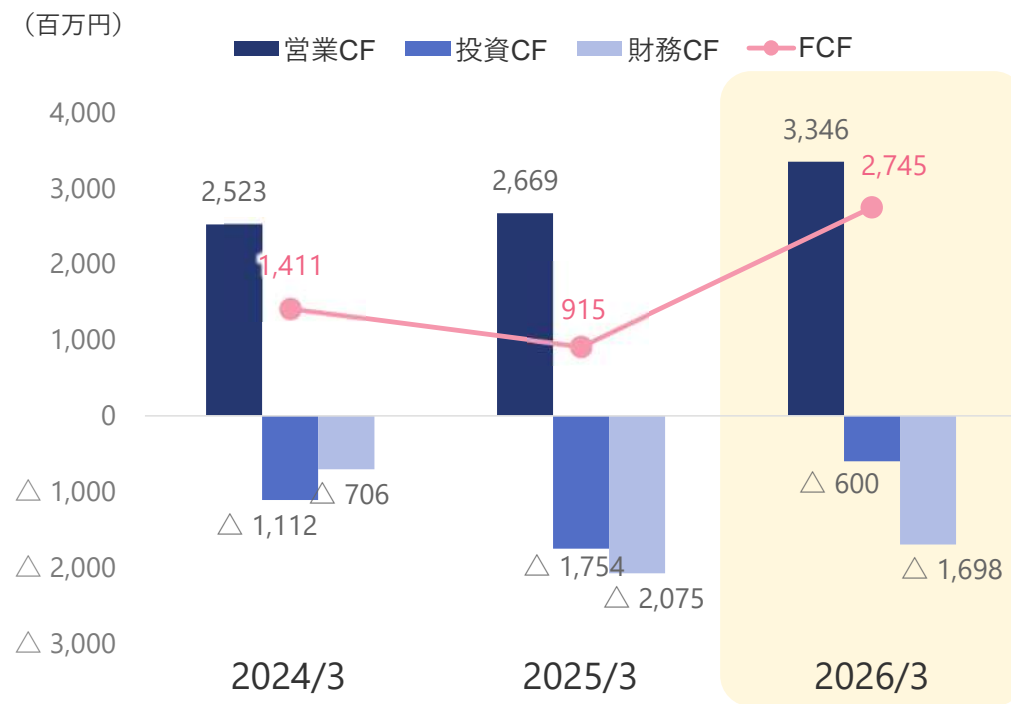
キャッシュフロー計算書

SUGIMOTO

- 売上債権の減少により営業キャッシュフローは3,346百万円となる
- 有形固定資産および無形固定資産の取得減少により投資キャッシュフローは減少
- 売上債権の減少および投資有価証券の売却によりフリーキャッシュフローは増加
- 短期借入金および自己株式取得により財務キャッシュフローは減少

キャッシュフロー計算書

	2025/3	2026/3
営業活動による キャッシュ・フロー	2,669	3,346
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,754	△600
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,075	△1,698
現金及び現金同等物の 増減額	△1,161	1,046
現金及び現金同等物の 期末残高	7,253	8,300



2027年3月期業績予想

2027年3月期業績予想

SUGIMOTO

- 売上高に関してはAI・半導体関連業界への注力により成長を見込む
- 営業利益に関しては償却費用（新基幹システム、建物）、及び人的資本への投資の増加に伴い2026年3月期と同程度になる見込み

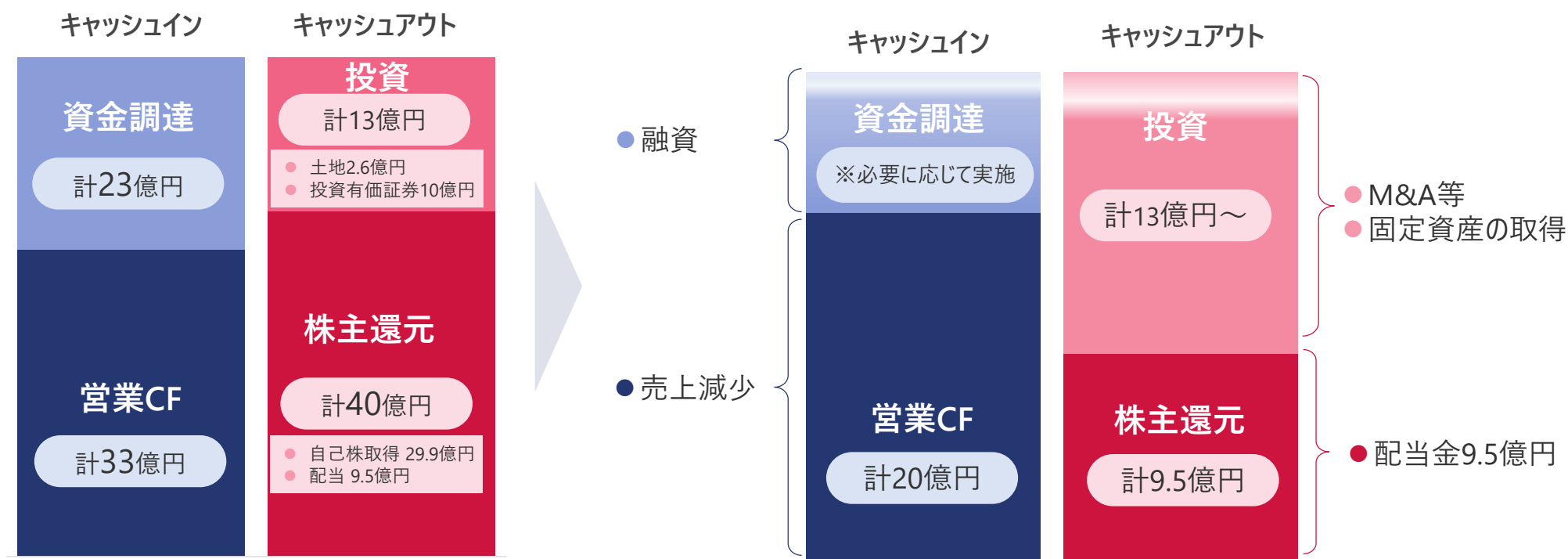
（百万円）

	2026/3 (実績)	2027/3 (予想)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	48,611	51,100	+ 2,488	+ 5.1%
営業利益	2,047	2,070	+ 22	+ 1.1%
経常利益	2,550	2,565	+ 14	+ 0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,112	1,736	△376	△17.8%
EPS（円）	117.29	99.32	△17.97	△15.3%

- 2027年3月期もM&Aを含む積極的な成長投資と株主還元資金を配分する計画
- 外部調達を今後も積極的に実施によるレバレッジの拡大

2026/3

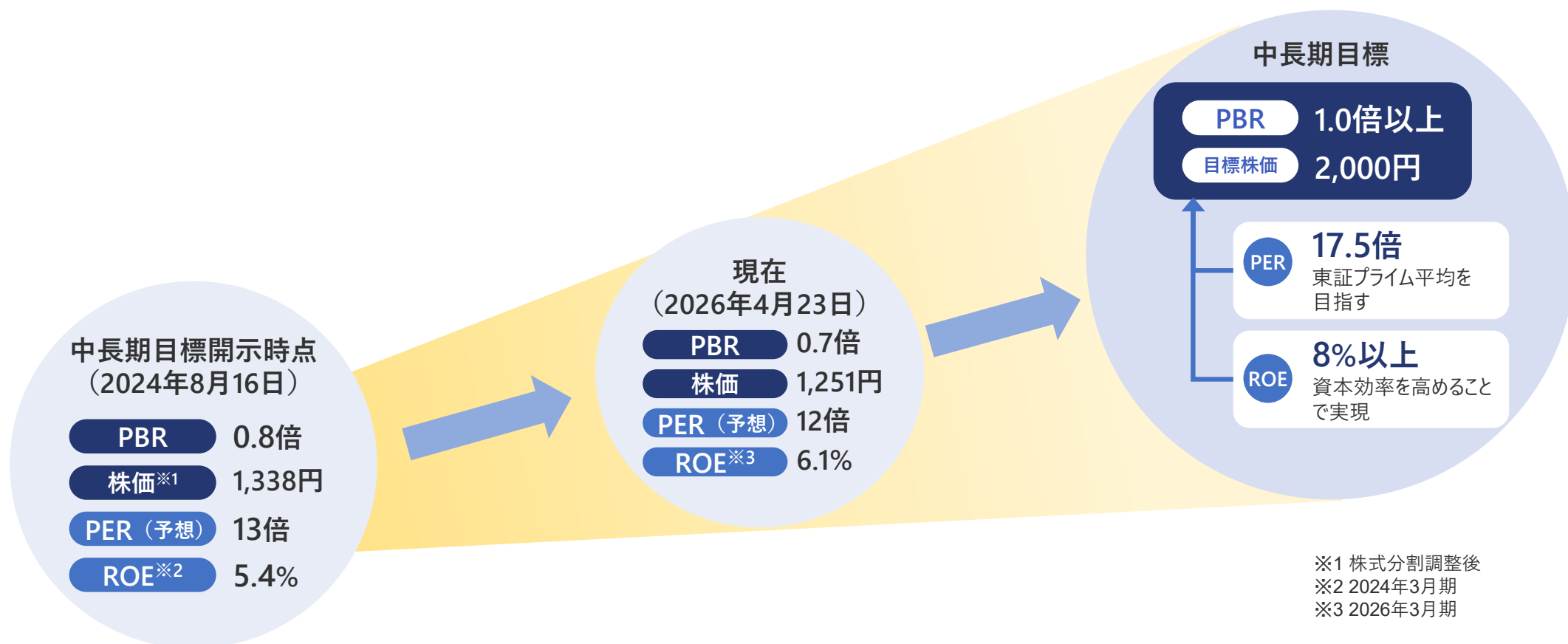
2027/3



中長期で当社が目指す指標

SUGIMOTO

- 2024年8月に開示した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」で示した中長期目標に向け、施策を着実に実行
- 2025年度に実施した株主還元施策によりPBRは1倍超（株価最高値2,015円、PBR約1.06倍）に改善したが、現在は株価が落ち着いている
- 今後、株価水準の引き上げを課題とし、そのための対策を随時検討



各施策のKPIの進捗状況（2026年4月現在）

SUGIMOTO

- 引き続き資本政策の取組みが着実に進展。2027年3月期は中長期の配当性向目標を達成する計画
- 次期中期経営計画は第4次中期経営計画の実績を基準に判断

PBR	ROE	株主資本の過剰な蓄積を抑制	資本政策/財務戦略	株主還元の強化 配当性向の向上と積極的に自社株買いの実施	- 配当性向 45.2% - 自社株買いの実施（総額30億円）	配当性向 55.4%（年間配当54円）	配当性向 50%以上を維持※	
				株式分割の実施	1：2	—	—	
	PER	売上高成長と利益率の改善	成長戦略	中期経営計画の着実な実行による売上高拡大と収益力の向上 - 既存事業のさらなる強化 - 新規商材・サービスの拡大、新市場開発 - 積極的な成長投資（M&A含む）	売上高 48,611百万円 営業利益 2,047百万円	売上高 51,100百万円 営業利益 2,070百万円	計画比マイナス	【最終年度】 売上高 55,830百万円 営業利益 2,860百万円
		期待成長率の向上						
		株主資本コストの低減		非財務戦略	情報開示の充実	決算説明資料開示の継続	決算説明資料開示の継続	情報開示の充実

取組み中

達成

※1株当たり配当金は35円を下限（株式分割調整後）とする

計画比マイナス

※1株当たり配当金は35円を下限（株式分割調整後）とする

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測しております。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

The logo for SUGIMOTO, featuring the word "SUGIMOTO" in a bold, dark blue, serif typeface. The text is centered within a white rectangular area that is framed by a thin blue border.